

第4節 結核・感染症対策

1 結核予防

(1) 結核罹患状況

わが国の結核状況は、新登録患者数が年々減少しているものの、依然としてわが国最大の感染症の一つであり、世界的にも結核の中まん延国と位置付けられている。

平成26年の管内の新登録患者数(表1)は24人で、昨年より7人減少し、罹患率は10.4と昨年(13.4)に比べ低下した。感染の危険性が高い喀痰塗抹陽性肺結核患者数は12人で昨年に比べ3人増加であり、喀痰塗抹陽性肺結核罹患率は5.2と昨年と比較し増加した。新登録患者に占める割合は、29.9%から50.0%と増加した。

新登録患者の年齢階層別では(表3-1)では70歳以上が18人と全体の75.0%を占め、性別で見ると(表3-2)男性が15人で罹患率が13.5、女性が9人で罹患率が

7.5と男性が多かった。新登録患者の発見方法別内訳(表3-3)では、医療機関受診が23人で全体の95.8%を占め、その他 個別・定期健康診断が1人(4.2%)、接触者健康診断が0人(0.0%)であった。潜在性結核感染症に該当する者の届出は(表3-3)10人で、昨年(15人)と比較して減少している。発見方法別で見ると、接触者健康診断が7人となっており全体の70%を占めている。

平成26年12月末における管内での登録者数(表2)は54人で昨年より10人減少し、登録率は23.4で、石川県(29.3)を下回っている。活動性結核患者は15人で昨年より10人少なくなっており、有病率は6.5で昨年(10.8)と比べ減少した。

表1 新登録結核患者数、罹患率の年次推移 (単位、患者数：人、罹患率：人口10万対)

		H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
南加賀管内	新登録結核患者数	52	39	22	31	24
	全結核罹患率 罹患率	22.1	16.7	9.5	13.4	10.4
	菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数	22	16	9	9	12
	喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率	9.4	6.8	3.9	3.9	5.2
	新登録結核患者に占める割合	42.3%	41.0%	40.9%	29.0%	50.0%
石川県	新登録結核患者数	192	190	161	152	149
	全結核罹患率 罹患率	16.4	16.3	13.8	13.1	12.9
	菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数	67	76	64	57	50
	喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率	5.7	6.5	5.5	4.9	4.3
	新登録結核患者に占める割合	34.9%	40.0%	39.8%	37.5%	33.6%
全国	新登録結核患者数	23,261	22,681	21,283	20,495	19,615
	全結核罹患率 罹患率	18.2	17.7	16.7	16.1	15.4
	菌喀痰塗抹陽性肺結核患者数	9,019	8,654	8,237	8,119	7,651
	喀痰塗抹陽性肺結核 罹患率	7.0	6.8	6.5	6.4	6.0
	新登録結核患者に占める割合	38.8%	38.2%	38.7%	39.6%	39.0%

表2 結核登録者数・登録率、有病者数・有病率の年次推移 (単位：人、平成26年12月31日)

		H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
南加賀管内	結核登録者数	81	83	75	64	54
	登録率(人口10万対)	34.5	35.5	32.2	39.1	23.4
	活動性結核患者数	31	27	22	25	15
	有病率(人口10万対)	13.2	11.5	9.5	10.8	6.5
石川県	結核登録者数	350	371	358	357	339
	登録率(人口10万対)	29.9	31.8	30.8	30.8	29.3
	活動性結核患者数	132	131	134	107	96
	有病率(人口10万対)	11.3	11.2	11.5	9.2	8.3
全国	結核登録者数	55,573	55,196	52,173	49,814	47,845
	登録率(人口10万対)	43.4	43.2	40.8	39.1	37.6
	活動性結核患者数	17,927	17,264	14,858	13,957	13,513
	有病率(人口10万対)	14.0	13.5	11.7	11.0	10.6

表 3-1 新登録患者数（活動性分類・年齢階級別）（単位：人）（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

	新登録患者総数	活動性結核							罹患率 (人口 10 万対)	潜在性結核感染症(別掲)治療中
		総数	肺結核活動性			肺外結核活動性				
			登録時喀痰塗抹陽性		その他の結核菌陽性		菌陰性その他			
総数	総数	総数	初回治療	再治療		その他の結核菌陽性		菌陰性その他	肺外結核活動性	罹患率 (人口 10 万対)
総数	24	22	12	12	0	9	1	2	10.4	10
年齢階級別	0～4	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	5～9	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	10～14	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
	15～19	0	0	0	0	0	0	0	0.0	1
	20～29	2	2	1	1	0	0	1	10.4	1
	30～39	0	0	0	0	0	0	0	0.0	2
	40～49	2	2	0	0	0	2	0	6.1	1
	50～59	0	0	0	0	0	0	0	0.0	4
	60～69	2	2	1	1	0	1	0	5.9	1
	70～79	4	4	2	2	0	2	0	15.2	0
80～89	11	9	6	6	0	3	0	72.4	0	
90 以上	3	3	2	2	0	1	0	78.0	0	
40 歳以上の比率	91.7%	91.0%	91.7%	91.7%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%		60.0%
70 歳以上の比率	75.0%	72.7%	83.3%	83.3%	0.0%	66.7%	0.0%	100.0%		0.0%

表 3-2 新登録患者数（活動性分類・性別・市町別）（単位：人）（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

	新登録患者総数	活動性結核							罹患率 (人口 10 万対)	潜在性結核感染症(別掲)治療中	
		総数	肺結核活動性			肺外結核活動性					
			登録時喀痰塗抹陽性		その他の結核菌陽性		菌陰性その他				
総数	総数	総数	初回治療	再治療		その他の結核菌陽性		菌陰性その他	肺外結核活動性	罹患率 (人口 10 万対)	潜在性結核感染症(別掲)治療中
総数	24	22	12	12	0	9	1	2	10.4	10	
性別	男	15	13	8	8	0	4	1	2	13.5	3
	女	9	9	4	4	0	5	0	0	7.5	7
市町別	小松市	11	10	7	7	0	3	0	1	10.3	5
	加賀市	7	6	4	4	0	2	0	1	10.3	2
	能美市	6	6	1	1	0	4	1	0	12.2	3
	川北町	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0

表 3-3 新登録患者数（発見方法別）（単位：人）（平成 26 年 1 月 1 日～平成 26 年 12 月 31 日）

	新登録患者総数	活動性結核							構成比 (%)	潜在性結核感染症(別掲)治療中	
		総数	肺結核活動性			肺外結核活動性					
			喀痰塗抹陽性		その他の結核菌陽性		菌陰性その他				
総数	総数	総数	初回治療	再治療		その他の結核菌陽性		菌陰性その他	肺外結核活動性	構成比 (%)	潜在性結核感染症(別掲)治療中
総数	24	22	12	12	0	9	1	2	100.0%	10	
健康診断	健康診断	1	1	1	1	0	0	0	0	4.2%	9
	個別健康診断	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0
	定期健康診断	1	1	1	1	0	0	0	0	4.2%	2
	学校健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0
	住民健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0
	職場健診	1	1	1	1	0	0	0	0	4.2%	2
	施設健診	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0
	接触者健康診断	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	7
医療機関受診	健康診断	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	2	
	家族健診	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	2	
	その他	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	5	
	医療機関受診	23	21	11	11	0	9	1	2	95.8%	1
その他	受診	20	18	10	10	0	7	1	2	83.3%	1
	他疾患入院中	1	1	0	0	0	1	0	0	4.2%	0
	他疾患通院中	2	2	1	1	0	1	0	0	8.3%	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	0	

表 4-1 結核登録者数（活動性分類・年齢階級別）（単位：人）

（平成 26 年 12 月 31 日）

	登録者 総数	総数	活動性結核							不活動 性結核	活動性 不明	潜在性 結核 感染症 (別掲)		
			総数	肺結核活動性			肺外 結核 活動性	治療 中	観察 中					
				登録時 総数	登録時 初回 治療	登録時 再 治療						登録時 他の 結核 菌陽性	登録時 菌陰性 その他	
総数	54	15	14	7	7	0	6	1	1	39	0	6	23	
年齢階級別	0～4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	5～9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	10～14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	15～19	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	
	20～29	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0	0	4	
	30～39	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	3	
	40～49	3	1	1	0	0	0	1	0	0	2	0	1	3
	50～59	4	1	1	1	1	0	0	0	0	3	0	4	3
	60～69	6	2	2	1	1	0	1	0	0	4	0	0	10
	70～79	12	2	2	0	0	0	2	0	0	10	0	0	0
	80～89	19	6	5	4	4	0	1	0	1	13	0	0	0
90以上	6	2	2	1	1	0	1	0	0	4	0	0	0	
40歳以上の比率	92.6%	93.3%	92.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	0.0%	100.0%	92.3%	100.0%	83.3%	69.6%	
70歳以上の比率	68.6%	66.6%	64.3%	57.1%	71.4%	100.0%	66.6%	0.0%	100.0%	69.2%	100.0%	0.0%	0.0%	

表 4-2 結核登録者数（活動性分類・性別・市町別）（単位：人）

（平成 26 年 12 月 31 日）

	登録者 総数	総数	活動性結核							不活動 性結核	活動性 不明	潜在性 結核 感染症 (別掲)		
			総数	肺結核活動性			肺外 結核 活動性	治療 中	観察 中					
				登録時 総数	登録時 初回 治療	登録時 再 治療						登録時 他の 結核 菌陽性	登録時 菌陰性 その他	
総数	54	15	14	7	7	0	6	1	1	39	0	6	23	
性別	男	27	5	5	2	2	0	2	1	0	22	0	2	10
	女	27	10	9	5	5	0	4	0	1	17	0	4	13
市町別	小松市	31	8	8	5	5	0	3	0	0	23	0	2	10
	加賀市	16	5	4	2	2	0	2	0	1	11	0	2	10
	能美市	6	2	2	0	0	0	1	1	0	4	0	2	3
	川北町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

表 5 結核死亡数及び死亡率の年次推移

（単位、死亡数：人、死亡率：人口 10 万対）

		H22 年	H23 年	H24 年	H25 年	H26 年
南加賀管内	死亡数	8	0	1	1	1
	死亡率	3.4		0.4	0.4	0.4
石川県	死亡数	19	15	9	15	11
	死亡率	1.6	1.3	0.8	1.3	1.0
全 国	死亡数	2,129	2,166	2,110	2,087	2,099
	死亡率	1.7	1.7	1.7	1.7	1.7

(2) 結核患者管理状況

保健所では感染症法に基づき結核患者及び結核回復者について登録管理をしている（表6）。

登録中の患者に対しては、保健師等の家庭訪問により患者の治療支援や相談、積極的疫学調査や接触者健康診断の連絡調整などで面接や相談を実施している（表7）。治療終了者や治療中断者に対して、再

発の有無の検査として精密検査（管理検診）を実施している（表8）。

さらに、市町や学校長、施設長や事業者等に対する結核定期健康診断の把握（表9）を通して、実施徹底にかかる指導を行い、結核患者の家族及び接触者に対しては接触者健康診断を実施している（表10）。

表6 結核登録状況（単位：人）（平成26年1月1日～平成26年12月31日）

	前年末 総数 (A)	本年中登録			本年中抹消					本年末 総数 (A+B-C)
		新規	転入	計 (B)	死亡	治ゆ 観察不要	転出	その他	計 (C)	
合計	112	34	0	34	13	47	1	2	63	83
結核患者	64	24	0	24	13	18	1	2	34	54
潜在性結核感染症	48	10	0	10	0	29	0	0	29	29

表7 保健指導実施状況（単位：件数）平成26年度

訪 問		来 所 相 談		電 話 相 談	
実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
39	153	36	143		1,505

表8 管理検診実施状況（単位：人）平成26年度

対象者 (A)	保健所	受 診 者 数						検 診 結 果			
		委託医療機関		定期 病状 報告	他の医 療機関 等	計 (B)	受診率 (B/A)%	要医療	要観察	観 察 不 要	
		内 訳									
		直接 撮影	喀痰								
119	0	51	51	9	68	0	119	100.0%	0	81	38

表9 結核定期健康診断の状況平成26年度

	対象者数	受 診 者 数				検 診 結 果	
		受診者数	受診率%	検 査 内 容		患者発見数	発病の恐れのある者
				間接撮影	直接撮影		
合計	74,798	27,715	37.1%	18,849	8,866	1	0
事業主	11,334	10,513	92.8%	3,857	6,656	1	0
学校長	2,910	2,856	98.1%	2,006	850	0	0
施設長	2,023	1,951	96.1%	591	1,360	0	0
市町長	58,531	12,395	21.1%	12,395	0	0	0

※結核健康診断報告書が予防接種法施行規則の一部改正（平成25年4月1日施行）により、「結核に係る予防接種を受けた者の数に関する1月ごとの市町村長の報告」が廃止されたことに伴い、予防接種の報告欄が削除された。

表10 接触者健康診断実施状況（単位：人）平成26年度

	対象者 (A)	受 診 者 数									検診結果			
		保健所実施	委託医療機関実施分						集団健診分	その 他実 施分	計 (B)	受診率 (B/A) %	発見 患者 数	発病 の恐 れ の あ る 者
			内訳	内 訳				内訳						
				IGRA	ツ反	直接 撮影	喀痰							
合計	443	195	195	99	14	76	3	6	146	146	440	99.3%	0	10
患者家族	150	78	78	72	14	50	2	6	0	0	150	100.0%	0	6
その他	293	117	117	27	0	26	1	0	146	146	290	98.9%	0	4

事業者 研修会	<p>対 象：外国人雇用事業主及び健康管理担当者 実施日：平成 26 年 6 月 2 日(火) 参加者 28 名 10 月 7 日(火) 参加者 25 名</p> <p>内 容：(外国人)労働者の健康管理 ・外国人結核患者の発病推移と発見過程の現状 ・職場における感染症発生予防のための健康管理 ・日常生活上の健康管理と疾病の早期受診について 講師 保健所職員</p>
結核対策 研修会	<p>対 象：医療機関等における医師及び医療従事者 実施日：平成 26 年 12 月 5 日(木) 19:00~21:00 会 場：小松市民病院 内 容：結核対策研修会(医師等研修会) 1) 講話「南加賀保健所管内の結核」 2) 講演「結核の早期診断・読影・治療と院内感染対策」 講師 (公財)結核予防会複十字病院呼吸器センター医長 森本 耕三 医師 3) 意見交換 参加者：54 名</p>
治療成功 のための 支援事業	<p>○コホート検討会(年 3 回)：診査会終了後に開催 実施日：平成 26 年 10 月 8 日(水) 6 件 平成 26 年 11 月 12 日(水) 5 件 平成 26 年 12 月 24 日(水) 7 件 内 容：菌陽性肺結核患者の治療成績の判定および評価 検討対象：肺結核新登録患者(菌陽性)の内、治療終了者 18 名 参加者：感染症診査協議会委員、保健所長、保健所担当者</p> <p>○DOTSカンファレンス(10 件開催) 実施日：南加賀保健所：4/10(1 件)、6/26(2 件)、8/4(1 件)、8/13(1 件) 9/10(1 件)、11/20(1 件)、11/28(1 件)、2/24(1 件) 3/26(1 件) 会 場：小松市民病院、やわたメディカルセンター 対 象：塗抹陽性肺結核患者及び主治医が服薬支援を必要と認めた患者(退院 時に病棟から連絡)(転院時に保健所から連絡) 参加者：病院主治医、担当看護師、薬剤師、地域医療連携室等 保健所保健師</p>

2 感染症予防

(1) 感染症発生状況

感染症発生動向調査

感染症の蔓延を防止するため、医療機関の協力のもと、患者の発生状況や病原体検出結果等の流行実態を早期かつ的確に把握し、情報を速やかに地域に還元することにより、有効かつ適切な予防対策の確立に資することを目的として、通年実施している。

感染症予防相談状況では、延べ 4,161 件の相談に対応しており、感染症分類別では、結核が最も多く、ついでインフルエンザ

(H1N1 含む)、感染性胃腸炎(ノロウイルス含む)の順となっている。

特に、インフルエンザやノロウイルスについては、保育園や高齢者施設などの社会福祉施設からの集団発生に対する相談が多く寄せられた。施設への早期訪問により、施設調査や消毒指導を行うことで、施設職員への二次感染防止のための指導を行った。

表 11-1 感染症発生状況（全数把握）

		H22年	H23年	H24年	H25年	H26年
一類（全7疾患）		0	0	0	0	0
二類（全5疾患）	結核（潜在性結核感染症含む）	55	76	30	46	34
	重症急性呼吸器症候群	0	0	0	0	0
	鳥インフルエンザ	0	0	0	0	0
	急性灰白髄炎	0	0	0	0	0
	ジフテリア	0	0	0	0	0
三類（全5疾患）	腸管出血性大腸菌感染症	7	29	2	8	2
	コレラ	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0
	腸チフス	0	1	0	0	0
	パラチフス	0	0	0	0	0
四類（全42疾患）	A型肝炎	1	0	0	0	0
	つつが虫病	2	2	3	2	1
	レジオネラ症	6	2	6	2	5
五類（全18疾患）	アメーバ赤痢	0	1	1	3	1
	ウイルス性肝炎	0	0	1	1	1
	急性脳炎	0	0	1	0	0
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	1	0
	後天性免疫不全症候群	0	0	0	2	0
	梅毒	2	0	0	1	1
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	1	0	0
	風しん	0	1	0	3	1
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	0	0	0	0	0

(感染症発生動向調査より)

表 11-2 感染症予防相談状況 (延件数)

平成 26 年度

		訪問相談		来所相談		電話相談	
		実人数	延人数	実人数	延人数	実人数	延人数
感染症総数		73	208	318	432	16	3230
(内訳)	一類感染症	0	0	0	0	0	0
	二類感染症 (結核)	39	153	36	143	/	1506
	三類感染症	3	9	1	2	3	46
	(内訳) 腸管出血性大腸菌感染症	3	9	1	2	3	46
	四類感染症	7	15	0	0	8	92
	五類感染症	1	1	0	0	5	29
	その他	23	30	281	287	/	1557
	(内訳) 感染性胃腸炎(ノロウイルス含む)	/	16	/	1	/	176
	インフルエンザ(H1N1 含む)	/	2	/	0	/	704
	予防接種	/	0	/	4	/	69
上記以外	/	12	/	282	/	608	

定点	疾患名	区分	平成26年 (単位:人)												計
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
インフルエンザ		管内	304	687	1,367	257	54	7	0	0	0	0	12	62	2,750
		県内	1,375	4,091	6,147	1,165	239	12	0	1	0	0	56	946	14,032
小児科	RSウイルス感染症	管内	21	25	6	5	5	0	3	1	8	24	81	152	331
		県内	89	95	41	18	20	4	9	3	54	135	298	393	1,159
	咽頭結膜熱	管内	11	30	15	4	19	16	15	12	7	5	12	8	154
		県内	82	147	158	104	145	195	120	84	42	19	39	63	1,198
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	管内	43	56	83	50	64	85	34	24	23	23	64	113	662
		県内	170	292	378	323	412	469	177	116	138	169	289	529	3,462
	感染性胃腸炎	管内	190	160	241	208	195	249	144	136	146	157	252	475	2,553
		県内	868	842	809	688	846	850	403	351	376	539	888	1,237	8,697
	水痘	管内	66	63	81	34	32	39	15	17	18	20	41	27	453
		県内	239	347	393	229	242	168	59	74	54	77	163	169	2,214
	手足口病	管内	5	13	38	13	2	56	82	128	72	22	4	3	438
		県内	9	24	49	34	29	155	339	597	488	147	64	60	1,995
	伝染性紅斑	管内	0	0	1	0	2	3	13	17	10	5	12	20	83
		県内	2	6	16	13	35	101	52	37	33	31	61	83	470
	突発性発疹	管内	7	8	12	13	10	24	16	27	20	12	16	13	178
		県内	36	35	55	58	69	96	83	94	64	63	54	48	755
百日咳	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県内	0	0	0	0	0	4	0	1	0	1	2	0	8	
ヘルパンギーナ	管内	0	0	1	2	3	20	35	65	31	4	2	0	163	
	県内	0	0	3	2	6	40	179	254	109	18	4	0	615	
流行性耳下腺炎	管内	20	23	46	33	37	42	38	32	26	4	14	6	321	
	県内	30	41	60	42	43	65	79	64	62	30	34	29	579	
眼科	急性出血性結膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	流行性角結膜炎	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	3	8	
		県内	12	10	8	9	12	3	6	12	12	6	12	6	108
基幹	細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	管内	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	2
		県内	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	3
	無菌性髄膜炎	管内	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
		県内	0	0	4	0	0	0	0	1	1	1	0	0	7
	マイコプラズマ肺炎	管内	2	0	2	0	1	3	7	5	5	1	5	2	33
		県内	7	5	3	3	7	11	11	18	12	17	19	17	130
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	管内	1	0	1	0	0	0	0	4	0	0	0	0	6	
	県内	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	管内	0	0	0	0	3	6	0	0	0	0	1	1	11	
	県内	0	0	1	0	12	6	0	0	0	0	1	1	21	

定点	疾患名	区分	平成26年 (単位:人)												計
			1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
STD	性器クラミジア感染症	管内	2	2	0	2	0	0	1	1	4	3	1	2	18
		県内	25	25	15	21	24	21	25	28	23	22	22	17	268
	性器ヘルペスウイルス感染症	管内	0	0	0	2	1	1	1	0	2	0	1	0	8
		県内	7	12	5	9	6	4	10	6	10	5	7	5	86
	尖形コンジローム	管内	0	1	2	2	1	1	3	1	3	1	1	0	16
		県内	4	3	2	7	7	7	7	5	6	6	8	1	63
淋菌感染症	管内	0	0	0	2	0	0	0	2	1	0	0	0	5	
	県内	18	16	6	11	8	5	12	14	14	13	4	10	131	
基幹	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	管内	10	7	6	3	4	5	4	8	9	5	6	10	77
		県内	22	23	19	11	15	15	9	16	19	22	19	23	213
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
		県内	4	3	2	4	2	1	0	1	0	1	0	0	18
薬剤耐性緑膿菌感染症	管内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	県内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	

(2) インフルエンザ様集団かぜ発生状況
(表 14-1、14-2)

平成 26 年度冬期の発生状況として、27 年 1 月 16 日に加賀市立山中小学校で集団発生があり、ウィルスサーベイランスの結果からは香港 A 型インフルエンザが優勢であった。

また、3 月以降は B 型が増え始めたが、集団発生としては 2 月 23 日の加賀市立山中小学校の報告が最後であった。

表 14-1 市町別インフルエンザ様集団かぜ発生状況(平成 26 年度)

区 分		石川県	管内計	小松市	加賀市	能美市	川北町
施設数			103	53	34	12	4
発生施設数		145	36	21	6	5	4
在籍数(人)		6,105	1,829	774	695	243	117
患者数(人)		2,631	469	233	108	77	51
措置状況	休校	0	0	0	0	0	0
	学年閉鎖	67	22	13	4	3	2
	学級閉鎖	78	14	8	2	2	2

注：在籍者及び患者数は、措置を取ったクラス等の初発報告の累計
注：同一施設で措置が変更した場合は、休校・学年閉鎖・学級閉鎖・授業打ち切りの措置規模の大きい方をカウントしてある。

表 14-2 感染症発生動向調査 月別患者報告数(平成 26 年)

定点	疾患名	区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
インフルエンザ		管内	304	687	1,367	257	54	7	0	0	0	0	12	62	2,750
		県内	1,375	4,091	6,147	1,165	239	12	0	1	0	0	56	946	14,032

(3) エイズ相談状況（表 15-1、表 15-2）

エイズに対する正しい知識の普及及び感染者の早期発見・早期治療を目的に、エイズ相談窓口を設け、検査を希望する場合はHIV抗体検査を実施している。平成17年12月からエイズ予防対策をより一層推進するため、HIV迅速検査免疫クロマト法を導入した。平成21年度は受検者の利便性を考慮し、午前中及び夜間の検査について、予約な

して迅速検査を行った。平成22年3月からは、午前中のみ迅速検査を行い、夜間はPA法とし、全て予約制とした。

HIV検査普及週間及び世界エイズデーでは、受検者の増加を図るため、カラオケ店や公衆浴場、コンビニエンスストア等に検査日時の記入されたポケットティッシュを配布し、普及啓発を行った。

表 15-1 エイズ相談状況

平成26年度（単位：件）

	相談件数			相談内容				相談方法		
	男	女	計	相談のみ	病院紹介	検査依頼	計	来所	電話	計
昼間	158	48	206	70	1	134	205	138	69	207
夜間	55	36	91	2	0	90	92	90	0	90
合計	213	84	297	72	1	224	297	228	69	297

表 15-2 HIV抗体検査状況

平成26年度（単位：件）

	受検者数			陽性者数			(再掲)迅速法による検査		
	男	女	計	男	女	計	受検者	要追加検査数	陽性者数
10歳代	1	4	5	0	0	0	2	0	0
20歳代	46	28	74	0	0	0	49	1	0
30歳代	50	16	66	0	0	0	44	0	0
40歳代	25	11	36	0	0	0	21	0	0
50歳以上	34	9	43	0	0	0	30	0	0
合計	156	68	224	0	0	0	146	0	0
(再掲)夜間	55	35	90	0	0	0	33	1	0

(4) 性感染症相談状況（表 16-1、表 16-2、表 16-3）

性感染症に対する正しい知識の普及及び感染者の早期発見・早期治療を目的に、性感染症相談窓口を設け、検査を希望する場合は、クラミジア及び梅毒検査を実施している。平成26年4月から、クラミジア検査が血液検査から抗原検査である尿

検査に変更され、陽性者に対しては紹介状を発行し、医療機関への受診を促す。また同時に医療機関への依頼書を渡す。医療機関からは結果書が返送される。

表 16-1 性感染症相談検査実施状況

平成26年度（単位：件）

区分	相談件数	梅毒血液検査				性器クラミジア感染症尿検査			
		計	陽性	陰性	判定保留	計	陽性	陰性	判定保留
男	87	72	1	71	0	68	0	68	0
女	48	37	0	37	0	32	0	32	0
計	135	109	1	108	0	100	0	100	0

表 16-2 クラミジア検査件数（性別・年齢別）

平成 26 年度（単位：件）

区 分	計	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代以上
男	68	0	20	18	19	7	4
女	32	3	15	6	5	1	2
計	100	3	35	24	24	8	6

表 16-3 梅毒検査件数（性別・年齢別）

平成 26 年度（単位：件）

区 分	計	10 代	20 代	30 代	40 代	50 代	60 代以上
男	72	0	19	22	19	7	5
女	37	3	18	7	5	1	3
計	109	3	37	29	24	8	8

（5）肝炎ウイルス相談状況（表 17）

肝炎ウイルスに対する正しい知識の普及及び感
染者の早期発見・早期治療を目的に、肝炎ウイル

ス相談窓口を設け、検査を希望する場合は肝炎ウ
イルス検査を実施している。

表 17 肝炎ウイルス相談検査状況

平成 26 年度（単位：件）

区 分	計	HCV 抗体 の検出	H C V 抗 体 検 査					HBs 抗原検査			相 談 件 数
		陰 性	陰 性	中力価及び低力価			高 力 価	計	陰 性	陽 性	
				HCV 抗原検査		陽 性					
				陰 性	陽 性						
男	76	0	76	0	0	0	0	76	75	1	227
女	46	0	46	0	0	0	0	46	46	0	
計	122	0	122	0	0	0	0	122	121	1	

（6）緊急肝炎ウイルス検査状況（表 18）

県民の肝炎ウイルス検査の受検機会を拡大し、
肝炎の早期発見、治療の推進を図ることを目的

とし、肝炎ウイルス検査を医療機関においても実
施している。

表 18 緊急肝炎ウイルス検査状況

平成 26 年度（単位：件）

計	HCV 抗体の検出 または HCV 抗体検査	H C V 抗 体 検 査					HBs 抗原検査		
	陰 性	中力価及び低力価			高 力 価	計	陰 性	陽 性	
		HCV 核酸増幅検査							
		陰 性	陽 性						
831	827	1	2	1	831	827	4		

(7) 肝炎対策推進事業

ア 肝炎ウイルス感染者フォローアップ事業

(ア) 目的

肝炎は、国内最大級の感染症であり、感染を放置すると肝硬変や肝がんといった重篤な病態に進行するとともに、ウイルスを通じた感染リスクがある。そのため、診断後間もない肝炎ウイルス感染者や治療中の方及び家族等に対して、肝炎についての正しい知識や治療方法に関する最新知見を学ぶための講演会・相談会を開催することにより、患者等が自分の病態を正しく認識し、長期間にわたる経過観察や治療を継続して行えるよう支援する。

(イ) 開催日・会場

平成 26 年 11 月 6 日 (木) 14:30～16:30

石川県南加賀保健福祉センター

(ウ) 参加者

平成 14 年度から 26 年度の市町の肝炎ウイルス検診で感染者と確認された者等

講演会 15 名、個別相談 6 名参加

(エ) 内容

【講演会】

「慢性肝炎ウイルス肝炎について
～B 型・C 型肝炎とは？

最新治療と日常生活～」

講師：金沢大学附属病院

助教 島上 哲朗 氏

【個別相談】

助言者：金沢大学附属病院

助教 島上 哲朗 先生

(根拠法令：肝炎対策基本法 第 17 条)

(8) 「世界エイズデー」に係る普及啓発事業

ア 目的

性に関する意思決定や行動選択に係る能力の形成過程にある青少年の性に関する正しい知識を普及するとともに、青少年の性行動の背景にある心の問題（寂しさや自己肯定感の低さ等）に、青少年に関わる関係者が適切に対処できるよう研修することにより、青少年の生きる力を育成することに寄与する。

イ 開催日・会場

平成 26 年 12 月 5 日 (金) 10:00～16:00

石川県南加賀保健福祉センター

ウ 参加者

小・中・高校の養護教諭、保育園保育士、保健所・市町職員等

33 名参加

エ 内容

【報告】「青少年の性感染症の動向について」

報告者 南加賀保健福祉センター職員

【講義・演習】

「ライフスキル入門

～子どもたちの行動する力を育てる～」

講師 北山 敏和 氏